

親書の例（案）

◎◎知事（市長）さま

謹啓

現在、日本では、2025年の国際博覧会を大阪・関西で開催するため、国・経済界・本府（市）を含む自治体が一体となり、オールジャパン体制で誘致活動に取り組んでいます。

大阪・関西は世界最先端のライフサイエンスの研究拠点の集積や高い生産技術を有する製造業が備わり、博覧会を開催できる十分なポテンシャルを有しています。また、国際博覧会の開催は、観光文化交流や産業イノベーションをもたらすことに加え、東アジアを中心とした経済文化交流の一層の進展、各地域の振興と住民の生活向上が期待できます。

開催テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。国連が提唱するSDGsの達成された社会をめざし、先端技術など世界の英知を集め、健康医療、経済成長、環境調和などの分野における人類の共通課題への解決策を参加国とともに創り上げてまいります。人間一人ひとりが自分のポテンシャルを發揮しながら、心身ともに豊かさを感じられる生き方と、これを可能にする持続可能な社会・経済の未来像を参加者全員で共創する場にしたいと私は考えます。

2025年の開催国は、本年11月のBIE総会において加盟170か国の投票で決まります。日本のほか、ロシア、アゼルバイジャンが立候補し、それぞれが、国連が提唱するSDGsを念頭に置いて国際社会への貢献をアピールするなど、日本での開催に向けた道のりは決して平坦ではありません。

貴州（省・市）におかれましては、2025年国際博覧会を大阪・関西で開催する意義をご理解いただき、開催地決定の投票において日本を支持いただくよう、中央政府への働きかけをよろしくお願いいたします。

敬白

2018年 月 日

大阪府知事 松井 一郎